

日本学術会議農学委員会 植物保護科学分科会（第24期・第1回：日本植物保護科学連合運営委員会との合同会議）議事要旨

1 日時 平成29年12月2日（土）10：30～11：40

2 場所 東京大学農学部フードサイエンス棟会議室1  
（東京都文京区弥生1-1-1）

### 3 出席者

植物保護科学分科会 松本宏、青野光子、上田一郎、小野正人、佐藤文彦、嶋田 透、西澤洋子  
（以上7名）

植物保護科学連合 平塚和之、西川尚志、矢野栄二、神村 学、三芳秀人、夏目雅裕、岡田憲典、  
與語靖洋（以上8名）

### 4 議題

議事に先立ち植物保護科学分科会および植物保護科学連合運営委員会委員より自己紹介があった。

#### （1）植物保護科学分科会委員長などの選出

学術会議第24期における分科会設置の経緯、分科会委員の決定および今後の連携会員の追加予定について、世話人を務めた松本宏氏から説明があった。次いで、植物保護科学分科会の役員について審議され、委員長に松本宏氏、副委員長に上田一郎氏、幹事に西澤洋子氏を選出した。

#### （2）学術会議公開シンポジウムの運営について

当日午後に開催する学術会議公開シンポジウム「遺伝子組換え作物と植物保護」の参加申込状況、準備状況及び進行手順について松本委員長から説明があった。また、遺伝子組換え作物研究及び栽培の動向と分科会としての今後の取組について意見交換を行った。

#### （3）第24期の植物保護科学分科会の活動について

松本委員長から、第22期、23期において開催してきたシンポジウムについて説明があり、24期においても毎年のシンポジウム開催及び分科会としての意志の表出を目指した活動をしていく方針が示され、了承された。

#### （4）関連学会組織との連携について

関連学会の連合体である植物保護科学連合には、シンポジウム企画や開催経費負担等で支援をいただいております。今後も連携して活動を行っていくことが確認された。連合の運営については、これまで委員長を務めた松本宏氏が分科会の委員長を務めることになったことから、役員の交代を含めて今後体制を検討することとした

以上

（文責：松本 宏）